

平成22年度認定企業

# 株式会社ディムコ

分野 新製造技術関連  
 キーワード 高機能フィルム成形  
 面接触  
 ロールtoロール

## ◆企業概要

設立 昭和61年8月  
 代表者 代表取締役 多賀 哲夫  
 所在地 〒236-0004  
 横浜市金沢区福浦2-7-13

TEL 045-780-5570  
 E-mail 002sakuma@dymco.co.jp  
 URL http://www.dymco.co.jp

## ◆事業内容・得意技術

純良で高強度を誇る高質なステンレス鋼などの材料を駆使し、精密な溶接や圧延技術また必要に応じて表面処理や様々な金属加工技術をコアテクノロジーとして特殊環境下や悪条件下の搬送で、あるいは高精度な動力伝達が求められる様々な応用例をもつスチールベルトおよびロール基材を製作して販売している。また多種多様なニーズに対応する提案型企業として研究開発により商品化・事業化を推進するというビジネス・スタイルを特徴としている。

## ◆主な製品・サービス

ゴムや樹脂ベルト、もしくはチェーンやローラなどで限界のあるコンベヤのベルトとして、ステンレススチールベルトを提案している。例えば、高温、衛生、平滑、無塵、耐腐食性、耐摩耗性などの要望の高いところに活躍している。また、フレキシブルで光沢のある硬質な面が特徴で、プラスチックフィルムの成形やラミネートなどにも最近その面接触を利用してロールtoロール方式のキーパーツとして実用化されはじめている。

## ゴムのような弾力と金属のような光沢面を併せ持つ極薄肉ステンレス製ロール&ベルト

### 認定事業名: 極薄肉フレキシブル・ステンレスロール基材の量産化・販売体制の構築

液晶用光学フィルム、タッチパネル、電子ペーパー、電子材料、リチウムイオン電池部材、等々いまやフィルムの時代、今後益々高機能化、大画面化の一途にある。昨今フィルム産業は「面産業」とも呼ばれ、熔融樹脂から薄膜のフィルム状に押出成形し、冷却する工程も高機能化、高速化が求められている。キーワードは「ロールtoロール」で、高速で連続がポイント、このため従来の金属ロールどうしのフィルム成形、延伸、冷却、転写などにはロール曲面と曲面の線接触が基本と成っているため、処

理速度、加工精度、冷却スピードには限界があり、面接触といえどゴムロールの弾性に頼るしかなく、ゴムの面精度や劣化等のコンタミ問題等、課題が山積。その中、ゴムロールのような弾性を持ち、かつ金属ロールの光沢面という相反する要素を併せ持ったロールが求められていた。本製品はステンレスを高張力の状態で極薄化する塑性加工により、シームレスで高い弾性と寸法精度を備えた「ロールtoロール」生産方式のキーパーツとして開発された。



▲高機能フィルム連続プレス搬送



▲電子部品などの組立て・検査用スチールベルト間欠搬送



▲面接触を実現、ステンレスでも弾力がある「エアロール」